

# G-NETしが

滋賀県立  
男女共同参画センター  
情報誌

情報誌

2024.11 vol.47



目の前のあなた  
ここに  
いるわたし

- ・若い世代×ジェンダー平等
- ・女性の起業  
トータルサポート事業  
～学び直しと新たな可能性～
- ・「だれもが どれも  
選べる社会に」
- ・講座レポート
- etc



「ジェンダー平等ミーティング」では、若い世代の皆さんがテーマに沿って日頃考えていることなどを真剣に話し合い、交流しています。また、思いを「発信する」ことにも力を入れています。

## 第1回 5月18日(土)

テーマ「ジェンダーとは何か？」

ジェンダーとは「文化的・社会的性差」のこと。ジェンダーそのものに良い、悪いはない。「メイクをするのは女性」「男性は「ぼく」と言え」など、型にはめて強制することが問題。



そもそも前提がおかしいのではないかと気づけることが大事。

(滋賀県立大学 京真帆子教授)

・無意識のうちに「これは男性」「これは女性」と決めていることが多いのなと感じた。  
・自分以外の人のジェンダーに関する意見を聞き、自分では気づかなかったことにも気づけてよかった。

・多くの同年代の人たちがジェンダーについて関心をもっていることを知れて嬉しかった。

・偏見をなくすのは難しいけど、相手を受け入れる気持ちをもてる人がもてるようになればいいなと思った。  
・アンコンシヤスバイアスに興味があった。



「目の前のその子のために」。子どもたちを取り巻く諸課題や、学校・大人に求められている役割について、講師とともに考えました。(教職員対象講座)

## 『DVについて、大人・教職員が知っておくべきこと』

伊田広行さん



デートDV防止(予防)教育の意義や、子どもたちが抱えている生きづらさ、困難をチャンスと捉え課題解決にむけて一緒に考えていくことの大切さ等についてお話しいただきました。子どもたちを守るために、教職員をはじめとした大人が分かっておくべきこと、教えないといけないこと、本気で伝えていくべきことに真剣に向き合うことができてきました。

・「シングル単位」、安全、自由、成長、自信ということを意識して、今後子どもたちやご家族に関わってきたいと思えます。  
・加害者側の視点から考えることで気づくことも多かったです。

・若年世代の立ち位置からの見え方を想像することができました。

・「イヤなことはいや」と言える子ども、いやと言えない自分を肯定できる子どもを育てていきたいと思いました。

・子どもたちにとっての「信じられる大人」となるよう、励んでいきたいです。

## 第2回 6月15日(土)

テーマ「性の多様性について考える」

「性のあり方」はみんなそれぞれ少しずつ違う。どれが正しいもない。受け取り方、感じ方もそのときどきによって変わる。人の数だけ性のあり方がある。

「LGBTじゃない人は「ヘテロセクシユアル(異性愛者)」「シスジェンダー(からだの性と性自認が一致)」「とちゃんと名前がついていて、これも多様な性のひとつ。」

「LGBTとふつう、じゃない。」

(NPO法人 共生社会をつくる性的マイノリティ支援)

全国ネットワーク 松尾タクミさん

・どこまでふれていいのか、どういう言葉を使えばいいのかわからないのか

・いろいろな人がいる。その人と向き合って、その人に合ったコミュニケーションのとり方を考えることが大切

・幼少期からの教育、具体的にどのようなしていけばいいか

・当たり前のように「男」と「女」だけで考えたりしていないか、一人ひとりが意識して、疑問に思うようにしてほしい。

・もっと本人の「好き」に寄り添っていいのでは。

・「普通」とは何だろうと考えさせられた。

・ジェンダーの問題について、もっと話しやすい社会になればと思った。



# ジェンダー平等ミーティング

## 『「包括的性教育」を日本で考える』

— 学校講演の実践から —

見た成果と現状 —

びわこんどーむプロジェクト代表

清水美春さん



「平等とは何か」などコンドームひとつからいろいろ考えさせられることや、自分の本音を知り相手に言葉で伝えることの大切さ、「中一では遅い」「なんでもっと早く教えてくれなかった」といった子どもたちのリアルな思い等についてお話しいただきました。いろいろなものを背負っている「目の前のこの子」のために何ができるかを、改めて考えることができました。

・コンドームを用いた実践が、子どもたちが性を肯定的に捉えることにつながると理解できました。

・「自分が大切にされているか」という言葉が心に残りました。科学的な正しい知識とスキルを子どもたちには伝えていきたいです。

・子どもたちとの普段の関わりの中に包括的性教育の視点を取り入れることで、「自分を大切にすること」を伝えていけるのですね。  
・こちらが遠慮している場合ではなく、今を生きている子どもたちが「しっかり知りたい」と思っていることを知りました。

## 第3回 7月20日(土)

テーマ「メディアとジェンダー」

誰もがマイノリティにもマジョリティにもなり得るが、どういう状況で自分がどうなるのか、理解しておくことが、メディアを考える上では大切。重要なポイントは、「どんなメディアでありたいか」。一人ひとりの発信や発言が変わることで変化することも大きい。そのコミュニティにおいて、自分はどういう立場をとるべきか、どういう発信をするべきか。まず大切なのは「公平性」。

(株式会社TIEWA代表取締役 合田文さん)

・平等、公平とは何かと考える時間になった。

・自分がその場のマジョリティなのかマイノリティなのか、考えながら会話などができるようになったらと思う。

・自分の考え方のクセを、もう一度考えてみるべきだと感じた。

・自分がマジョリティ側である事柄については、どうしても無頓着になりがちであることに気づかされた。発する言葉の中に、無意識の偏見を助長するようなものが混ざってしまっていないか、考えるよいきっかけになった。

・その人自身をみて対話することが、平等への第一歩になるのではないかと。



## 『性的指向・性自認の悩みと児童生徒への対応』

特定非営利活動法人 PROUD

LIFE代表理事 安間優希さん

そもそもマジョリティ、マイノリティとは何かということや、セクシュアルマイノリティのストレスや孤独感、プレッシャー、そして本人の意思と自己決定を尊重する態度や、自身のジェンダー観への自覚が重要であること等についてお話しいただきました。LGBTかどうかではなく本来みんな多様であるという、「性の多様性」を考える上での大前提を、今一度見つめることができました。

・カミングアウトへの対応は本当に難しいと感じますが、「話してくれたい」ということを大切にしたいと思いました。



・わかったつもりにならない。謙虚な気持ちをもち、一つひとつの場面を大切な学びどころと捉えてこれから対応していきたいと思えました。

・正か誤か、白か黒か：そのような世の中に生きている子どもたちをどのように支援していけるのか、今日のお話を聞いて深く考えさせられました。

・マイノリティという言葉が少しずつでもなくなっていくばいばいと思いました。

# 教職員対象講座



想像したのは誰の声、姿ですか

無意識の偏見に気づくことからはじめませんか

### 『ジェンダー平等CM』※朗読劇

(第1回ジェンダー平等ミーティングに参加された皆さんが、場面設定とせりふを考えました)

ジェンダー平等ミーティングについてもっと知りたい方はこちら! →→→



### 女性のチャレンジ・起業支援セミナー

起業するにあたり、何から始めればよいのかわからない方、自分にあった起業について知りたい方、夢を実現させたい方、チャレンジする仲間とつながりたい方を対象に、情報交換や参加者同士の交流を通して、不安や悩みを共有し、解消の糸口を探ることを目的に、起業やステップアップする際に必要な知識および視点を習得するためのセミナーを開催しました。本年度から、デジタルスキルの習得や法律・経理等起業に役立つスキルの学び直しができる「リスキリングコース」を新たにスタートしています。各講座とも定員を超える申し込みがあり、大盛況です。11月からは土曜日開催のセミナーがはじまります。詳しくは当センターホームページをご覧ください。



起業支援セミナーの様子



### コワーキングスペース・起業相談



コワーキングスペース

G-NETしが女性の起業支援センターでは、WiFi環境のあるコワーキングスペースの運営や起業相談、チャレンジシヨップ体験の場の提供など、あらゆる角度から女性の起業を応援しています。オンラインによる起業相談も実施しています。

### 女性の起業ポータルサイト



↑「女性の起業ポータルサイト」  
二次元コードはこちら

女性が起業に必要な情報を効率よく入手できるよう、起業に関する情報を一元的に発信するサイトを運営しています。女性の様々なチャレンジを支援するポータルサイトです。ぜひご利用ください。

### 女性のためのオンラインマルシェ

子育てや介護などで時間的な制約があるなど、様々な環境にいる女性が、得意分野を活かした自作の商品やサービスなどを提供できる新しい販売手法として注目されている「オンラインマルシェ」。

今年で3年目を迎えたオンラインマルシェ事業では、まずは「オンラインマルシェとは何か？」を知ってもらう出店塾入門編と、実際にオンラインマルシェに出店する際に必要な知識を学べるセミナーやフォローアップ相談ができる出店塾実践編を開催しました。今後、このセミナーで学ばれた方たちが、実際にオンラインマルシェにチャレンジされます。オンラインですの、ぜひお気軽に遊びに来てください。

会場の様子



サテライト会場の様子



### オンラインマルシェとは

オンライン上で開催するマルシェのこと。出店者・参加者同士が同じ会場にいるような臨場感で自身の商品を対面販売することができます。

### 参加者の声

講座に参加させていただいたことで今まで全く知らなかったオンラインの活用法を知ることができ、新たな可能性を感じました。決済方法、二次元コードの作成等、すぐに使えるツールも学べて良かったです。



参加する前は、オンラインマルシェについて分かっていませんでしたが、参加して、よく分かりました。こんな世界があったことに、感動しています。情報格差の時代だと、より実感しました。

オンラインマルシェのこと、役割などを知ることができました。無形の商品であっても、提供の仕方、工夫でオンラインマルシェに出店することができるがわかりました。リアルでしか考えていなかったの、しっかり学んでオンラインの可能性も考えて行きたいです。



# 講座REPORT

4月  
↓  
10月

CHECK!!

令和6年度

# 講座REPORT

講座	概要
<p>第1回 相談員スキルアップ 講座 5/16(木)開催</p>	<p><b>講義『「DVに関する事例から学ぶ法律知識」』</b> 講師：大野 聡子さん(弁護士)</p> <p>DVや離婚に関する基本的な知識をはじめ、今年4月に改正法が施行された「保護命令」に関する説明も含め、相談を受ける際のポイントについてお話しいただきました。法改正に向けて進んでいる「共同親権」についても現状を教えていただき、どのような場合に法律相談につないでいけばよいかも学ぶことができました。</p> 
<p>第2回 相談員スキルアップ 講座 7/11(木)開催</p>	<p><b>講義『精神障害・精神疾患について』</b> 講師：辻本 哲士さん(滋賀県立精神保健福祉センター所長)</p> <p>精神障害・精神疾患について、一般的な特徴をはじめ、精神障害者との接し方についてお話しいただきました。相談員が支援をする目的とあわせてお話しいただいた相談者との関係における「振り回し」の対応は、ご参加の皆様から「とても参考になり、実践していきたい」との声が多く寄せられました。</p> 
<p>第1回 市町男女共同参画 担当職員研修 4/19(金)開催</p>	<p><b>講義『ジェンダー課題を解決する鍵：「ジェンダー・アンコンシャスバイアス」とは』</b> 講師：藤野 敦子さん(京都産業大学教授)</p> <p>「ステレオタイプ」のもたらす良い面、悪い面や、「ジェンダー・アンコンシャスバイアス」を引き起こさないために必要なことについてお話しいただきました。ディスカッション等もおして、「個々人」に注目することの大切さを改めて考えることができました。</p> 
<p>第2回 市町男女共同参画 担当職員研修 10/10(木)開催</p>	<p><b>講義『多様な性を知る～“男女”って?～』</b> 講師：橋本 竜二さん(NPO法人にじいるBiwako)</p> <p>「男女」と言うとき、自分はどういう男性、女性を想定しているのだろう。そのようなことを、一人ひとりが少し立ち止まって考える時間になりました。 「相手のセクシュアリティはわからない」「わからないを前提に」「こちらからボールを投げてみる」・・・橋本さんが話されたこと、大切にしていきたいです。</p> 

講座	概要
<p>第1回 G-NETほっとセミナー 5/25(土)開催</p> 	<p><b>『男女共同参画の現状と課題 ～「男性介護者」の現状から考える～』</b> 講師：津止 正敏さん(立命館大学名誉教授/男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局長)</p> <p>全国各地の男性介護者の体験談や地方紙に寄せられた声から、私たちは何を学べるのかを問いかけられました。 介護におけるジェンダー規範や男性介護者の現状が、ワークライフバランスやジェンダー平等という新しい社会観形成に及ぼす影響について考えを深めることができる、たいへんよい講座となりました。</p> <p><b>参加者の声</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰かに聞くこと、誰かに頼ることの大切さについて、一度パートナーと話してみようと思いました。</li> <li>・いろいろな立場の人が参画することで、介護の問題に対してよりよい取組がしていけるのではないかと思います。</li> <li>・相手の悩みを受け入れられる心の広さを持ち、仲間とともに社会を変えていくことができれば嬉しいです。</li> </ul> 
<p>第2回 G-NETほっとセミナー 10/12(土)開催</p> 	<p><b>『かかりつけ居場所より愛を込めて ～居場所づくりってどうするの～』</b> 講師：麻生 知宏さん(NPO法人Since代表理事) Sinceのみなさん</p> <p>理想の居場所って?そもそも居場所とは?? 近江八幡市内のフリースクールSinceのみなさんと一緒に考えました。 「とことんやれる」「そこにいる人たちを信じられる」「インプットもアウトプットもできる」「いろんな人と出会える」「自分の役割がある」「それぞれがリスペクトし合っている」・・・宝物のような言葉にたくさん出会えました。みなさんは、どんな「居場所」を作りたいですか。</p> <p><b>参加者の声</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの話が聞けてよかった。お互いを見るあたたかなまなざしにも感動しました。</li> <li>・今日話してくれた子どもたち、みんなとてもよい人生を送っているなあ。これからも自分らしく生きていくのだろうなあ。</li> <li>・長年生きてきて、ある意味それは自分の居場所を作るための戦いだったのかも。今日出会った若い方々にもエールを送ります。</li> </ul> 

6月23日～6月29日

# 男女共同参画週間

令和6年度のキャッチフレーズ

## だれもがどれも 選べる社会に

### 週間の取組

○講演会、研修会、セミナー等

6月15日 ジェンダー平等ミーティング

6月5日～23日

展示 お産 助産所でのいのちのたんじょう

6月10日～

「まちのコイン『ビワコ』をGET!!

県内男女共同参画6センターめぐり」や

G-NETシネマ『百合祭』の上映、

みんなで笑顔になろう写真展などを開催



「男女共同参画社会」でこうなったらいいなとみなさんが考える社会について募集しましたところ、30点のご応募いただきました。『遠慮なくなんでも言い合える』、『意見を言いやすい』、『自分のことを話そうと思える』など、性別に関係なく、だれもが言いたいことを言い合える社会になつたらいいなという思いをもたれている方が多くおられました。

みなさんが思う「こうなつたらいいな」という社会はどのような社会でしょうか。



「男女共同参画社会」  
あなたの思う「こうなつたらいいな」な社会の募集

「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日にちなんで、毎年、6月23日から29日までの一週間は、「男女共同参画週間」と定められ、男女共同参画センターにおいても、様々な取組を通じ、男女共同参画基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指して取り組んでいます。

性別を問わず、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するために、みなさんも一緒に考えてみませんか？

### 啓発から実践へ！ つなぎ・ひろげ ふかめる

G-NETしがでは、男女共同参画社会の実現に向けて活動されている各団体間のネットワークづくりをサポートする等の目的で、登録制度「しがWO・MANネット」を設置しています。

また、男女共同参画に関する幅広い知識・経験をお持ちの方に「G-NETしが推進員」としてご登録いただいています。

#### ◆第一回会議および交流会

今年度の活動にむけて、推進員、登録団体代表者が集まり、学習、交流する場をもちました。

後半の交流会では、「食」などのテーマをとおして、それぞれの考えや、この先の世の中への展望についてゆつくり語り合うことができました。



食にまつわる思いは、その人の生きてきた足あとそのもの

#### ◆令和6年度登録団体

- 男女平等条例を推進する会
- 滋賀県教職員組合女性部
- 滋賀県第5地区
- 東雲会第5地区
- くさつ男女共同参画市民会議いづぶん
- NPO法人 滋賀県生涯学習イストラクターの会
- 滋賀県おやこ劇場連絡会
- 滋賀県LD等発達障害親の会トムソーヤ
- 滋賀県商工団体連合会婦人部協議会
- 滋賀県地域女性団体連合会
- 特定非営利活動法人
- MY TREE しが
- 男女共同参画をすすめる会 YOU 淡海
- NPO法人 創業未来会議室
- CAPLが
- お産と子育てを支える会
- 国際ソロプチミスト近江八幡
- 滋賀県退職女性校長会(滋賀梅の実会)
- Wood's Ship
- 滋賀県読書グループ連絡協議会
- 新日本婦人の会滋賀県本部
- 滋賀県フリースクール等連絡協議会
- ガールズカウト滋賀県第20団
- さばてはな
- 特定非営利活動法人にじいろBivoko
- 気ままなカタリバガWirth

(全25団体)  
\*登録は随時受付中です

#### ◆令和6年度推進員

今年度13名の方にご登録いただいています。

推進員、登録団体の皆さんとは、セミナーや「G-NETしがフェスタ」などでも学びを深めたり、広く県民の皆さんへむけた啓発をおこなったりしています。

### ようこそ! G-NETしがへ

当センターに、  
インターンとして  
来られた学  
生さんの声  
をお届けします。

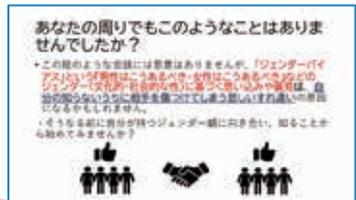


#### 「インターン体験記」

今日初めてセンターを訪れて、センターが男女共同参画社会の実現に向けて、女性がゼロから起業することを応援するセミナーの開催などのさまざまな取組を行っていることや、多くの市民や団体が交流するための場を提供していることを知りました。

今日学んだことは、無意識の偏見についてです。自分の中のジェンダー観や、考え方のクセのようなものについて意識をしなければ、無意識のうちに相手を傷つけてしまうことがあります。まず気づくことや、目の前の相手をありのまま受け入れる姿勢をもつことが大切であると学びました。

もしかしら、センターやセンターの取組について知らないという方も、まだまだおられるかもしれません。今回の体験を機に、男女共同参画やジェンダー平等について、他人事ではなく自分事として考えていけたらと思います。そして、センターのことを多くの方に知ってもらいたいです。



↑ 学生さんが作成された啓発物



初めてセンターへ来られた学生さんの姿から、気づかされることがたくさんありました。

みなさんに親しまれるセンターとなるよう、引き続き励んでいます!

## 図書・資料室

自分らしく生きていくための



書籍・雑誌の紹介

### 図書・資料室からの書籍案内



G-NETしが図書・資料室では、男女共同参画に関する図書や関連資料、DVDやビデオなど約6万冊の蔵書があり、貸出しをしています。レファレンスサービス、情報提供も充実しています。ぜひ、ご利用ください。

### 『いたいことがあります!』

魚住 直子:著 西村 ツチカ:絵  
偕成社 2018年

子どもの頃、親に対して思っていたことを覚えていますか？親のこんなところが嫌い、こんな親にだけはなりたい。そう思っていたのは主人公の陽菜子(小6)のおかあさん。

でも今は「女は勉強も家事も両方できたほうがいいのよ」と、陽菜子には家事の手伝いも塾の勉強も頑張るようにいいます。「子どものためを思って」という親の言葉は、子どもを支配する言葉なのかもしれません。



### 『ヘルジャパンを女が自由に楽しく生き延びる方法』 アルティシア:著 幻冬舎 2023年

「女はこうあるべき」というジェンダー規範、痴漢などの性暴力、セクハラ、中高生を性的対象として扱う文化など、女性が生きていく上でさらされるさまざまな状況。そしてその状況に対する男性との認識のギャップが、この世を女性にとって生きづらいヘル(地獄)ジャパンにさせています。また、ジェンダーの呪いに傷つくのは必ずしも女性だけではありません。誰もがジェンダーの視点をもつことで、世界の見方が変わります。あなたのジェンダー観をアップデートさせてくれる爆笑フェミエッセイです。



子育て世代の  
学びたい・参加したい・相談したい・・・  
を応援します。

G-NETしが  
幼児室  
(託児室)

生後6ヶ月～就学前の乳幼児を無料で託児しています。

G-NETしがで開催される講座や研修会をはじめ、茶亭で抹茶を楽しむ、図書資料室で本に親しむなどあなたの時間があなたのために提供されるよう、お子さんを幼児室(託児室)でお預かりします。

滋賀マザーズジョブステーション近江八幡での就職活動やG-NETしがでの面接相談にもご利用いただけます。



G-NETしがフェスタでは親子でクリスマスツリーなどのモノづくり体験コーナーを開設し、幼児室を公開しています。

(今年のフェスタは12月1日開催)



保育士が常駐し、保育の専門スタッフとともに、お子さんへの安全・安心を最優先に、年齢に応じたおもちゃや絵本など、楽しく過ごしてもらえる遊びを準備してお待ちしています。



事前にご予約が必要な場合があります。お申込み等詳細はセンターホームページをご覧ください。

## 在宅ワークを始めませんか？

参加費  
無料

### 在宅ワーカースキルアップ セミナー&交流会

これまでの経験や専門的なスキルを活かして仕事をするために必要なことを学びます。多様な働き方をするために一歩踏み出してみませんか？

オンライン開催

会場開催

日時:11月12日(火)  
10:00~12:00  
テーマ:仕事に繋がる  
ポートフォリオ  
作成のコツ  
※zoom使用

日時:11月19日(火)9:30~12:00  
11月26日(火)9:30~12:00  
会場:滋賀県立男女共同参画センター  
講習室  
テーマ:ライティングのポイント  
住宅業界の仕事  
※無料託児有、要予約

### 在宅ワーカー×企業 お仕事マッチング交流会

在宅でどんな仕事ができるのか、どんな働き方ができるのか、実際に仕事を発注してくれる企業と話をするチャンスです！

会場開催

日時:12月13日(金) 9:30~12:30(受付9:15開始)  
会場:草津市立市民総合交流センター大会議室  
(キラリエ草津6階)  
持ち物:筆記用具、名刺やポートフォリオ

【お申し込み・お問い合わせ先】  
合同会社LOCO  
Mail: loco.living1@gmail.com  
LINE: 346hnxis

TEL:0749-53-4480(受付時間 9:00~17:00 土日祝日除く)  
【主催】滋賀県【後援】草津市、仕事と生活の調和・女性活躍推進会議が

お申込時には、

- ①参加日程
- ②お名前(ふりがな)
- ③ご連絡先
- ④託児の有無をお知らせください

## 女性の就労サポート

総合受付:0748-36-1831

滋賀マザーズジョブステーション・近江八幡(当センター内)

★マザーズ就労支援相談コーナー……0748-36-1831

<キャリアカウンセラーによる就労相談、保育情報の提供、各種講座の開催など>

★母子家庭等就業・自立支援センター 0748-37-5088

<ひとり親の方への再就職、転職、訓練、講習会など就業に関する相談や情報提供>

★ハローワークマザーズコーナー……0748-37-3882

<職業相談、職業紹介>



☆出張長浜相談を実施しています。

月曜日(詳細はお問い合わせください) 10:00~15:00  
長浜市北船町3番24号 えきまちテラス長浜2階 LOCO Living  
詳しくは総合受付(0749-53-4480)へお問い合わせください。

☆オンライン相談(Zoom)を実施しています。

詳しくは総合受付(0748-36-1831)へお問い合わせください。

☆JR草津駅前にも相談窓口があります。

滋賀マザーズジョブステーション・草津駅前  
総合受付:077-598-1480 草津市大路1-1-1 エルティ932 ガーデンシティ草津3階  
※休所日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始

## 11月は「仕事と生活の調和推進月間」です！

滋賀県では、事業者、労働者、NPO、行政など関係者が一体となって仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進等のため、「仕事と生活の調和・女性活躍推進会議しが」を設置し、職場や地域での実践、社会的気運の醸成等に取り組んでおり、11月を「仕事と生活の調和推進月間」と定め、県民一人ひとりがライフスタイルや職場環境を見直すことにつながる広報・啓発活動を集中的に実施しています。

仕事、家庭生活、健康・休養、地域生活、自己啓発、趣味など人生において大切にしている様々なことを、希望するバランスで、生活の中で展開できるよう、皆さんも自らのワーク・ライフ・バランスのあり方を考えてみませんか。



イラスト タカノキョウコ

この推進月間を契機に、  
職場や地域でのワーク・ライフ・バランスの取組を推進しましょう！



## 女性に対する暴力をなくす運動

国では毎年11月12日~11月25日を「女性に対する暴力をなくす運動」の期間として自治体と連携して周知啓発に取り組んでいます。

暴力は、その対象の性別や加害者・被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありません。特に、配偶者等からの暴力、性犯罪・性暴力、ストーカー行為、売買春、人身取引、セクシュアルハラスメント等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

この運動をきっかけに、女性に対する暴力について考え、暴力のない社会づくりをすすめましょう。

\*「パープルリボン」は女性に対する暴力根絶のシンボルです。



◆滋賀県ではデートDV  
防止啓発冊子を作成し、  
HPIに掲載しております。  
デートDVについて  
考えるきっかけにぜひ  
ご活用ください。



Information

G-NETしが



滋賀県立男女共同参画センター“G-NETしが”  
男女共同参画相談室

みな はなさく  
☎0748-37-8739

受付時間

火、水、金、土、日  
9:00~12:00、13:00~17:00  
木 9:00~12:00  
(祝日の翌日・年末年始・施設点検日等を除く)



相談は無料です。秘密は守ります。



総合相談

- ◆電話相談◆
- ◆面接相談◆

専門相談

- ◆DVカウンセリング◆
- ◆法律相談◆
- ◆男性相談員による男性相談◆

ひとりで悩まないで まずはお電話ください。  
一緒に考えていきましょう。

※面接相談、専門相談は予約制です。  
まずは、電話相談をお願いします。



滋賀県  
こころのサポートしが  
LINE相談



左の二次元コードから  
LINEの友だち登録を  
すると相談できます。

<相談時間>

毎日 16:00~22:00



周辺地図



500人までご利用いただける  
大ホール

貸館利用者募集

当センターでは、大ホールや  
研修室、日本庭園のある  
茶亭などをお貸して  
います。是非、お問い合  
わせください!

※当センター主催の講座や相談に参加される場合、  
無料託児をご利用いただけます。



〒523-0891  
滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4  
【開所時間】午前9時~午後9時  
【休所日】月曜日(祝休日除く)、  
祝日の翌日、年末年始、施設点検日等

【TEL】0748-37-3751  
【FAX】0748-37-5770  
【E-Mail】g-net@pref.shiga.lg.jp

アクセス

JR近江八幡駅下車南口より500m または  
JR近江八幡駅南口から近江バス「男女共同参画センター前」下車



滋賀県立男女共同参画センター情報誌vol.47  
発行日/令和6年11月  
編集・発行/滋賀県立男女共同参画センター

